境変化などについても研究し、環境教究などを行う。地球温暖化といった環 属。世界自然遺産白神山地を中心に、 動物や植物の生態学的研究や気象の研 然環境研究センター 育の推進を目指す 環境研究センター
教員3人が所
◆弘前大農学生命科学部付属白神自

や植え込みなど造園植物に害

弘前大農学生命科学部付属白神自然環境研究セン

究を始めた。日本には外来種 メムシ「グンバイムシ」の研 から体長3。『前後の小さなカ の価値向上と固有種の保全を 相馬純助教(30)はカメムシを 白神自然環境研究センターの 解明を通して、世界自然遺産 ている。新種の発見や生態の 専門に昆虫の分類学を研究し 大学院生時代の2018年 弘前大農学生命科学部付属



昆虫の分類学、固有種の保全にも貢献

昨年からは環境省の助成金 ある。諸島の昆虫の研究を進

小笠原諸島固有種のハハジマグンバイ発見の瞬間

(久末遊氏撮影、相馬純助教提供)

顕微鏡でグンバイムシの標本を見る相馬純助教=9月下旬、 弘前大

別が難しい種や名前がついて を与える珍しい種が存在。識 に採択された、昆虫の保全と いない種もいるなど課題が多ー自然遺産・小笠原諸島の研究 そこでまだ調べられてい る。 生態の解明を目的とする世界 プロジェクトチームに参加す

かった。

価値として認められなかっ る一方で、昆虫は有名な固有 種が生息するにもかかわらず 陸貝や植物の研究が評価され 世界遺産登録に当たっては

調査。グンバイムシは開始当 から沖縄まで歩いて徹底的に ない山や島を中心に、北海道

国内に74種とされていた

世界遺産は登録後も審査が

102種いると明らかにし が、これまでに新種を含めて

ら、異なる島に生息する近似 た。 主植物を特定するなど研究に 必要な基本情報をほぼまとめ いか」と意義を話す。 値として認められるのではな シが8固有種で、それらの寄 の種が複数いることも確認。 「島ごとに分断されて種が分 諸島の調査ではグンバイム 同じ寄主植物を摂食しなが

かれていったことを示すので

固有の昆虫が進化してきた背 手掛かりになるとみている。 要」と強調する。 景を明らかにすることが重 はないか」と固有種の進化の 遺産の価値を上げるには、

す。 ことで、固有種の保全も目指 けている場所や環境を知る 響を受けるカメムシについ ても調査しており、被害を受 最近は捕食性の外来種の影

めることで「遺産の新たな価

の保全にも両方貢献していき 値を上げることにも、固有種 ったが、最終的には遺産の価 たい」と展望を語る。 **査から始めなければならなか** 「今回はかなり基礎的な調

当該ページに限って"デーリー東北"が この画像は、 利用を許諾したものです。無断転載はできません。